

日時：令和5年9月10日（日） 10:00～15:30

場所：万代シテイ通り（新潟市）

バリアフリー体験参加者：20名（内訳：車いす体験15名、高齢者疑似体験5名）

実施概要

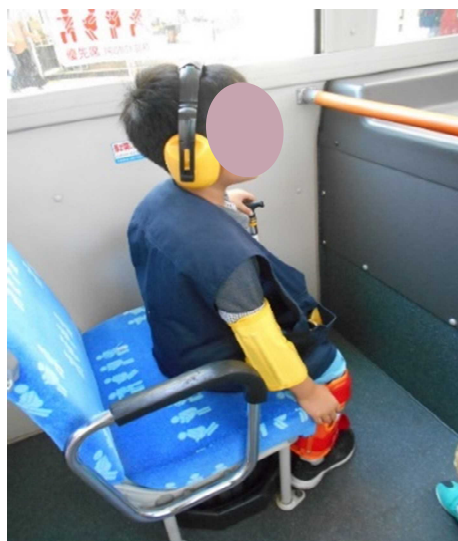
万代シテイバスまつり2023でバリアフリー教室を開催しました。バリアフリー体験ではノンステップバスに車椅子で乗降車する体験と特殊な重りや装具を着けてバスに乗降車する高齢者疑似体験を実施しました。それらの体験を通じ、障害等の有無にかかわらずお互いに支え合うことの大切さを発信しました。

また、バリアフリー教室に来場した人を対象に「心のバリアフリーに関するアンケート」を実施しました。

●バリアフリー体験のようす・参加者の声



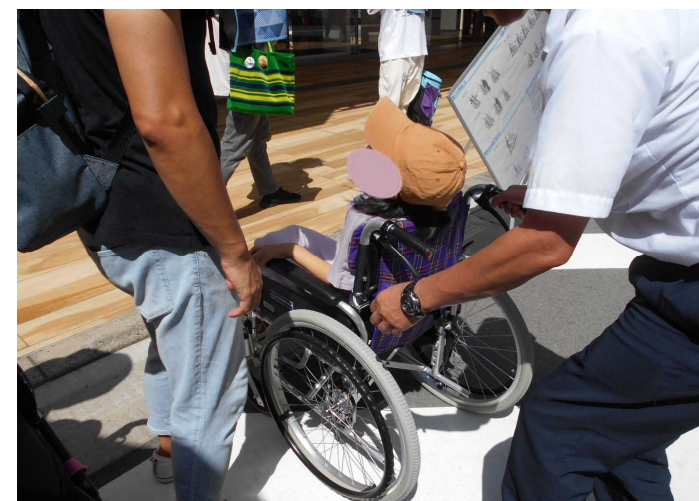
乗務員が車椅子の乗降車をサポート。車椅子を固定し、運行時の安全を確保。



高齢者体験キットを着けてバスに乗車「少し動くだけでもつかれる」



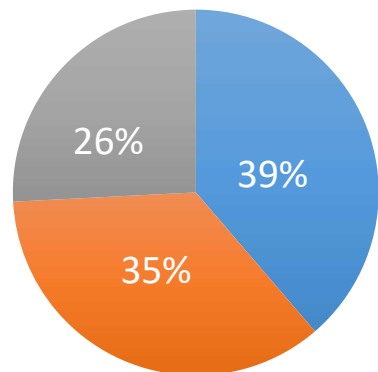
「いつもより足が曲がらないだけで、動作が大変なことに気づいた」



バス停から通路までのわずかな段差も乗り越えるのに一苦労。周りのサポートが重要。

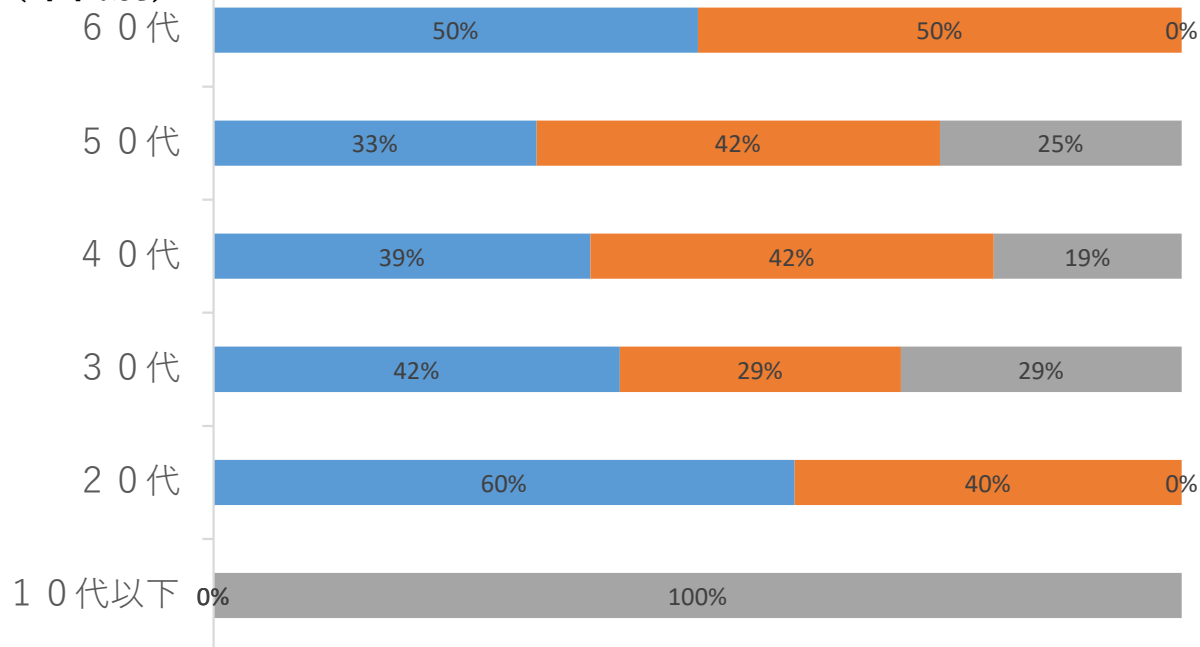
設問1：「心のバリアフリー」という言葉を知っていますか。（回答数=93）

（全年齢）

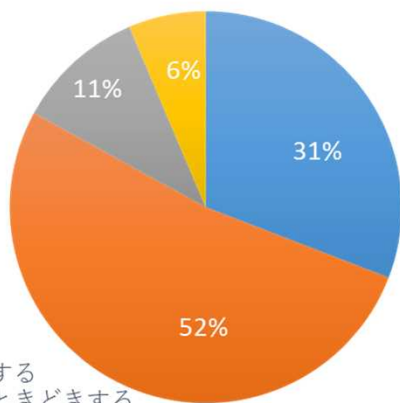


- 知っている
- 聞いたことはあるがよく知らない
- 全く知らない

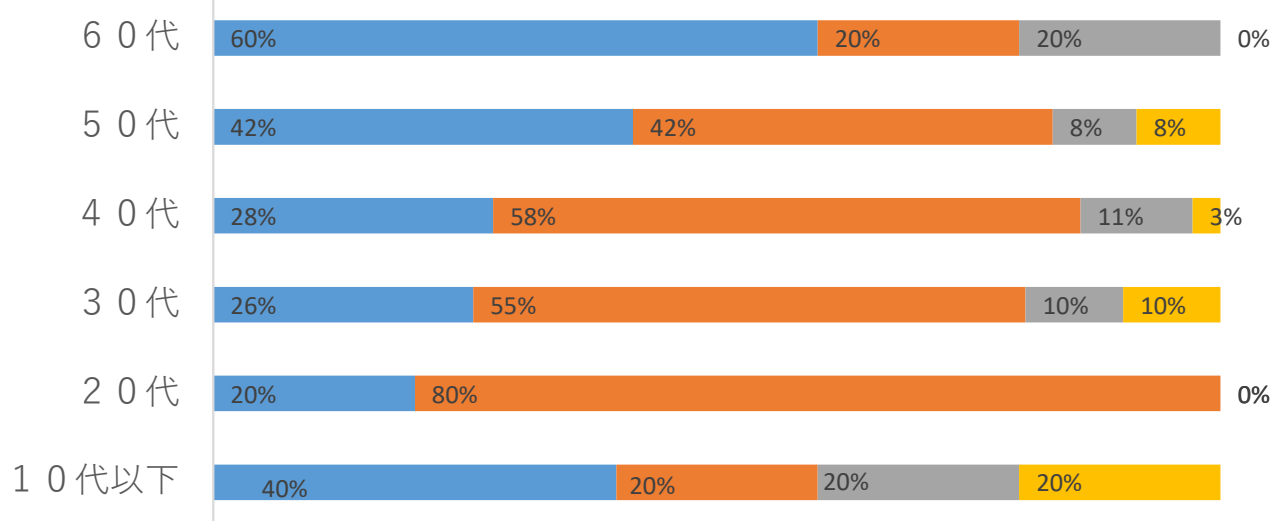
（年代別）



設問2：日頃から高齢者、障害者、妊婦、ベビーカーユーザー、子ども連れ等が困っているのを見かけたら声かけや手助けをしますか。（回答数=94）



- する
- ときどきする
- していない
- 困っている様子を見たことがない



設問3.高齢者、障害者、妊婦、ベビーカーユーザー、子ども連れ等の立場を理解して行動できるような人を増やすためには、どうすればよいと思いますか（複数回答可）

（全年齢）

当事者との交流で理解を深めるような機会を設ける

39

メディア(政府広報、TV、web、広告等)での啓発

54

学校等での教育

62

特に増やす必要は感じない

1

わからない

3

その他

7

（「その他」の主な意見）

<30代>

- ・学校と保護者との勉強、経験
- ・手助けが必要かわからない、かえって迷惑になりそう

<40代>

- ・介助している時に周りの人がじろじろ見ないような社会にする。
- ・当事者が困っている様子を見せない、当事者が助けを求めるのも大事

<50代>

- ・お手本となる人が実践する姿を見せ、その風景が一般化すると良い
- ・バスの運転士のアナウンスを活用する

